高等学校第１学年公民科（公共）学習指導案

期　日：令和４年 11 月 18 日
時　間：第６校時
対　象：第１学年Ｂ組 33 名
学校名：清心女子高等学校
授業者：植田　啓生

１　単元（題材）名

「　少女は「はた」を「らく」にできるのか？（働くとはどういうことか？）　」

２　単元（題材）の目標

(1)現代社会における「労働観」をジェンダーと近現代倫理・思想史の視点から再解釈し、生徒主体で深める。
(2)具体的な教材としては、「大衆文化」としてのアニメ映画『魔女の宅急便』と『千と千尋の神隠し』を使用。
(3)西洋や日本の勤労観・労働観についての史資料を活用し、現代の事例に関連付けて思考・判断・表現させる。

３　単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
１：現代日本の「労働観」の内容と背景を理解する。その上で、欧米の近現代思想家（マルクス、サルトル、アーレント）の「労働観」を述べた資料の内容を理解できる。	２：アニメ映画作品に描かれる「労働観」が現代社会と結びつけながら、アーレントの「労働・仕事・活動」（『人間の条件』）意味で考え、どの概念を適用すれば良いかを、自分の言葉で口頭表現ができる。	３：アニメ作品の背景となる価値観（労働観）と社会のしくみ（構造）の中で変化しない（再帰的）部分が何かを一言で文章化できる。例：「千」の働き方は、「はた」を「らく」にするという古い労働観と自己実現という今の考え方の融合。

４　指導観

(1)単元（題材）観

本研究授業の題材である河野真太郎(2017)『闘う姫、働く少女』（堀之内出版）によると、最近のジブリやディズニーのアニメ映画には現代社会における女性の働き方やジェンダー観、そしてフェミニズム運動の新たな側面（第三波フェミニズム）が表象されながら、後期近代化論（ギデンズ）における社会構造の再帰性（変わらなさ）が示されている。つまり、現代は脱工業化社会・新自由主義社会になったことで、有償労働でも無償労働でも公共的な「働き方」の種類や方法が多様化（自己実現志向、非正規雇用など）したにも関わらず、相変わらず労働には「コミュニティを維持するため「他者の負担を軽減する」」という『「はた」を「らく」にする』原始的な側面が残されているという。具体的には、生産重視のマルクス思想や伝統的な日本の勤労観（滅私奉公）などだ。

しかし、果たして私たちは「公共のため」だけに働いているのだろうか？自己と他者が対話し思考することこそが、結果的に多くの人々の「はた」を「らく」にするのではないだろうか？以上のような素朴な疑問を本単元の「柱となる問い」に据え、労働（経済）を『人間の条件』（アーレント）から**公共（政治）題材**として扱う。

(2)教材観

教科書は実教出版の『詳述公共』を使用している。統計も資料も掲載豊富なため、教材作成の参考にする。

(3)生徒観

真面目に一生懸命授業を聞いているが、内容を十分理解しているとは限らない。恋愛と部活とポピュラーカルチャーに関する話題で対話をする時は比較的前向きに授業に取り組むので、アニメ映画を教材にして討論する。

５　年間指導計画における位置付け

学年	第１学年	第２学年	第３学年
単元（題材）名	公共（倫理分野）第２章 「人間としてよく生きる」	公共（経済分野）第４章 「経済活動のあり方と国民福祉」	なし （発展科目である倫理・政治経済は高 1CD 組のみが履修）
主な内容	**古代ギリシャ思想、ユダヤ/キリスト教、西洋思想史** （本時では具体的な思想家だとマルクス、サルトル、アーレントが関連）	**労働問題と雇用、社会保障** （具体的には、日本型雇用慣行、ワークライフバランス、男女雇用機会格差、育児・介護休業が関連）	なし

６　単元（題材）の指導計画と評価計画（全２時間扱い）

時	★目標　〇学習内容　・学習活動	■評価規準（評価方法）
第1時	★現代の思想家たちは他者に対してどのような公共性を確立しようと考えたのか？（教科書 p.37-41）	
	〇新聞記事から読み解く現代や過去における「日本の労働観」 ・新聞記事からＮＰＯ経営者の労働観に関する資料を引用し、古くからの労働観が反映されていることを確認する。 〇社会の進歩と変革 ・マルクス　鍵概念『経済学・哲学草稿』**疎外** 〇主体性の再定義 ・サルトル　鍵概念『実存主義とは何か』）**アンガージュマン** 〇公共性の確立 **・アーレント　鍵概念『人間の条件』労働・仕事・活動** 〇『魔女の宅急便』と『千と千尋の神隠し』における労働観の比較：アイデンティティの労働からケアの労働への機能変化。 ・現代女性の労働観が作品の時代背景で変化するのを解説。	■ワークシートで鍵概念の確認 ■教科書・資料集で鍵概念の解釈 ■教科書 p.14-15、32-41 □資料集 p.21-24、42-53 ■特にアーレントの思想（人間の条件）に着目して、「活動」と「複数性」と「他者」の関連性をグループワークによる対話を通じて整理し、言語化していく。 ■事前学習として公開授業の日までに『魔女の宅急便』と『千と千尋の神隠し』本編を各自で視聴してもらう。
第2時（本時）	★少女は「はた」を「らく」にできるのか？（働くとはどういうことか？）（河野(2017)p.84-125）	
	〇少女は「はた」を「らく」にできるのか？（班別討論） ・『千と～』の「千」は「**何のため**」にケア労働をしているか？『魔女』のキキの働き方や労働観と比較しながら、湯婆婆のお風呂屋で働く**「千」の労働観**を**倫理的に考察・検討**する。	□ワークシート：独自に作成 ■前時までに学んだ思想家（アーレント）の労働観（「労働・仕事・活動」）に関する資料とジブリ映画から検討。

７　指導に当たって

(1) 論理的思考（ロジカル・シンキング）

ケア労働と近現代思想に関する資料を読み解き、分かることを空欄に当てはまるように適切な語句を考える。

(2) 批判的思考（クリティカル・シンキング）

２つのアニメ映画作品の比較分析を通じて、現実社会における若年女性の労働が抱える構造的問題を読み解く。

(3) 水平思考（ラテラル・シンキング）

単元のまとめとして現実社会における若年女性の労働をジェンダーや複数の価値観から相対的に思考できる。

８　本時（全２時間中の２時間目）

(1)本時の目標

・近現代の西欧思想史に関する資料をもとに「はたらく」ことに対する捉え方が時代によって異なることを理解し、その社会的な背景を適切に表現することができる。

・現代の日本社会で若年女性が直面する（有償・無償の）労働環境を理解した上で、清心女子高生が「男女共同参画社会」を作り上げるために必要な「古くて新しい労働観」を考え、簡潔かつ論理的に表現することができる。

(2)本時の展開

時間	○学習内容　・学習活動	・指導上の留意点	■評価規準（評価方法）
導入（10分）	○本時の問い：少女は「はた」を「らく」にするのか？の再確認（問題提起） Q5. 未成年の女性が（有償 or 無償）で働く主な理由とは？（世界／日本）	・若年層の女性による（有償・無償の）労働事例について、過去の校内外の課外活動を通じてイメージを膨らませるよう指導する。具体的には、聖ジュリーの日や日々の教室掃除など。	■資料から児童労働やヤングケアラーの置かれている現状を正確に読み取ることができる（資料活用の技能：ワークシートへの記述内容確認）。
展開（35分）	Q6. 「千」の「はたらく（労働）」は、「キキ」と比べた場合、どういう「**労働**」になるのか？Q5.の用語を用いて、その理由も説明しなさい。 Q7. 事例②：『千と千尋の神隠し』（2001年）の「千」は、「「**何のため**」に働いている？ Q8. 湯婆婆の風呂屋での「千」の働き方は、ハンナ・アーレントのいう「**労働・仕事・活動**」（『人間の条件』）の概念を使って説明すると、「**どのような働き方**（状態）」と言えるか？	河野(2017)における議論を要約した上で、論点は教員が提示する。討論をするときは生徒が資料を基に「特定の思想家の立場」から見解を述べて議論をする。主に扱う思想家は「ハンナ・アーレント」とする。具体的にはアーレントの鍵概念「労働・仕事・活動」を軸に、議論を展開する。	■ジブリアニメの背景にある労働観を資料から考え、適切に表現することができる。(思考・判断・表現：ワークシートへの記述内容確認、一部生徒の発表) ■論争課題の討論では、特定の思想家の立場から討論やワークシートの論述をしている。(知識・理解：ワークシートへの記述確認)
まとめ（5分）	Q9. 本時の論争学習テーマ：少女（千と私）は「はた」を「らく」にできるのか？（働くとはどういうことか？）	・口頭での説明が難しい場合は、まず自分自身がどう行動していくべきかをワークシートで書いた上で、口頭説明を班内で行う。	■若年女性の労働問題に関する論争問題学習を通じて、男女共同参画社会の実現に向け意欲的に行動しようとしている。(関心・意欲・態度：ワークシートへの記述内容確認、口頭発表)

(3)参考文献

○ハンナ・アーレント(1994)『人間の条件』ちくま学芸文庫
○『倫理資料集 ソフィエ　智を学び夢を育む』(2012)清水書院
○駒崎弘樹(2013)「「働く」とは他者を楽にすること」NIKKEI STYLE
○河野真太郎(2017)『闘う姫、働く少女』堀之内出版
○池上彰[監修](2020)『なぜ僕らは働くのか』学研プラス